

防災の日

9月1日は、

です。

なぜ、この日が「防災の日」なのか、わかりますか？（答えは、最後に。）
ちなみに、9月1日からの1週間は、「防災週間」になっています。

霧島高校から見て、
北北東の方角約15kmのところに
新燃岳（霧島山）があります。



今年1月に噴火警戒レベルが1から2に引き上げられましたが、8月25日から、火口直下を震源とする火山性地震が増加しました。28日からは減少傾向ですが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量の増加や、火口西側斜面の割れ目において噴気や地熱域が認められるなど、火山活動が高まった状態となっていることから、今後、噴火が発生するおそれがあります。

噴火が発生すると、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要です。2011年の噴火では、火口から10km離れた地点で1～3cmの噴石が約80件降ったり、16km離れていた車のサンルーフが割れたりしたこともあるので、霧島高校やその周辺が危険にさらされる可能性は十分にあります。

大きな噴火が発生したら…

① 学校にいる時

- ・先生の指示に従い、落ち着いて避難行動を取る。
- ・危険と判断されたら、保護者に連絡をとり迎えにきてもらう。
- ・帰宅が困難な場合は、学校に留まる。（帰宅支援セットの活用）

② 通学している時

- ・（自転車、単車）運転をやめて、屋根のある場所など、安全な場所に避難する。室内では、ガラス窓など危険なものから遠ざかる。
- ・（電車）窓から離れる。電車が止まったら、降りて安全な場所に避難する。

災害によって、自分の命や大切な人の命を失わないように、事前の備え、起こった時の対処の仕方について学び、実践できるようにしておきましょう。

「防災の日」は、
1923（大正12）年9月1日に発生した、関東大震災にちなんで創設されました。